

建材 マンズリー

No.590 **12** DECEMBER
2014

特集

ライフスタイルの数だけ キッチンがある

ここでちょっと一息 Coffee Break

2015年豊かな住まいへ、 二つの潮流

注目企業を訪ねる

有限会社 大平技研



ライフスタイルの数だけキッチンがある

かつて流し台は、木製亜鉛鉄板貼りや人造石の研ぎ出しなどが主だった。1950年代、ステンレス流し台のプレス工法による大量生産が実現し、一般家庭への普及が始まった。ステンレス流し台セットは誕生したばかりの日本住宅公団に採用され、ダイニングキッチンの主役となる。システムキッチン*1が普及するのは、80年代に簡易施工型システムキッチンが開発されてから。1999年には出荷数において従来のセクショナルキッチン*2を逆転した。そして現在、ユーザーがキッチンに求めることに変化が出てきている。キッチン選びはライフスタイルに合わせて、という人が増えているようだ。今号では、長年現場で取材を続けてきたキッチンジャーナリストとメーカーの開発担当者に、“キッチンの今”について聞いた。



キッチン暮らしを演出する場

——今、ユーザーはキッチンの何にこだわっている？

キッチン選びでは収納やお手入れのしやすさなどが重視されてきましたが、そうした機能が十分進化した現在は、それよりも自分のライフスタイルに合わせて「こんなキッチンがほしい」という空間イメージを優先させるユーザーが増えています。例えば、「コーヒーが好きなので、コーヒーを入れる場所であるキッチンをカフェのような雰囲気にした」と。自分らしい暮らしを演出する場所としてキッチンを選えるようになってきました。

——ユーザーの要望にどう応えたらいいの？

ユーザーの希望に応える選択肢はすでにたくさんあるので、そこから取捨選択すればいいわけです。しかしキッチンに多くのバリエーションが生まれていることを、工務店側もユーザー側も整理できていないのが実情です。実は皆さん「システムキッチン」という呼び方で一括りにしていますが、

——ユーザーの要望に応じて「から作るのが⑤「オーダーキッチン」です。ユーザーと直接やりとりするショールームのほか、建築家が空間設計と共にデザインする場合や、最近では工務店が独自に作るケースもあります。またDIYの要素が強いキッチンには⑥「カジュアルキッチン」と分類しています。キッチンのパーツ組み立て・取り付けに自信のないユーザー



写真提供:トクラス株式会社、株式会社LIXIL、株式会社モリコーポレーション、株式会社アクタス、株式会社リネアタラーラ、株式会社サンワカンパニー (番号順)

ライフスタイルからキッチンの提案を

——提案するのにも工夫が必要になるのでは？

キッチンは、今の不満点からではなく、ライフスタイルから決めるべきです。そのためには食生活やライフスタイルを知り、ユーザーに合ったキッチンの提案が重要です。例えば、営業担当者は機能や素材の説明の前に、「趣味は何か、毎日の食生活はどのようなものか」などのトークから始めてみる。そうした会話から、ライフスタイルを知っておけば、ユーザーにぴったりのキッチン提案ができるかもしれません。

また、最近ではインテリアに合わせて選び方も出てきています。リビングにオープンキッチンが進出してきたため、床・壁・家具に合わせてキッチンを選んだり、ソファの張り地と

これらはいくつかに分類できます。

一番馴染み深いのは住宅設備メーカーの①「メーカーキッチン」です(3ページ写真参照、以下同)。同じく住設メーカーのビルダー向け普及価格帯のキッチンを私は②「ポリウムゾーンキッチン」と分類しています。ユーザーのインテリア志向が高まるにつれ、最近特にニーズが広がっているのが③「カスタムキッチン」という分野です。家具製造から発展したメーカーのキッチンです。これらのキッチンは、インテリア性を重視した既存モデルのカタログを見ながら自分流にカスタマイズできます。カスタムキッチンの輸入版が④「インポートキッチン」となります。

キッチンの扉材を合わせるなど、キッチンを単なる住宅設備とは考えず、インテリアの一部として意識するユーザーが増えています。今、家具やインテリアの知識は住宅に関わるプロにとつて必須のスキルといえます。選び方が多様化していく中、ユーザーに自分が求めることを明確にしてもらうためにも、ライフスタイルからキッチンを提案することが今後より一層求められていくと思います。

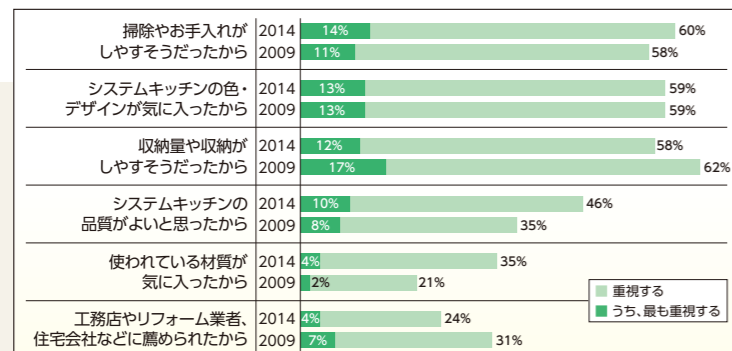
キッチンジャーナリスト 本間美紀氏

profile

大学卒業後、インテリア専門誌の編集部にて約9年勤務。2002年からインテリア、デザイン、キッチン、暮らし関連のフリーエディター&ライターとして、雑誌の執筆や企画編集を中心に活躍



図1. システムキッチン購入時の重視ポイント



出所:住宅産業協議会「平成25年度 住宅・住宅設備に関するCSアンケート調査 概要報告書」

*1 システムキッチン:複数のキャビネットを連結し、シンク付きのカウンター(天板)により一体化させ、調理用加熱機器や食器洗い機などのビルトイン機器を組み込んだキッチン

*2 セクショナルキッチン:流し台、ガス台、調理台、吊戸棚などの独立した部品を並べて配置したキッチン(キッチン・バス工業会・島崎喜和氏の解説より)



ユーザーの不便を発掘し あたりまえになる機能を開発

ユーザーの行動観察から 生まれたハイバックカウンター

1976年に、人造大理石を用いたシステムキッチンを国産で初めて誕生させた当社では、お手入れのしやすさと使いやすさを重視し、シンプルにするこでのベネフィットを追求した商品開発を続けてきました。

新商品の開発にあたって当社が最も大切にしていることは、「お客様の真の要望を実現することです。企画開発部門のメンバーがユーザーのお宅へ訪問し、調理する姿を観察する「訪問調査」を通して、不満の種まで探し出します。

このような取り組みから開発された一例が、2012年度グッドデザイン



トクラス株式会社
キッチン事業部
キッチン企画グループ
グループ長
高山忠久氏



トクラス株式会社
キッチン事業部
キッチン企画グループ
杉本美雪氏

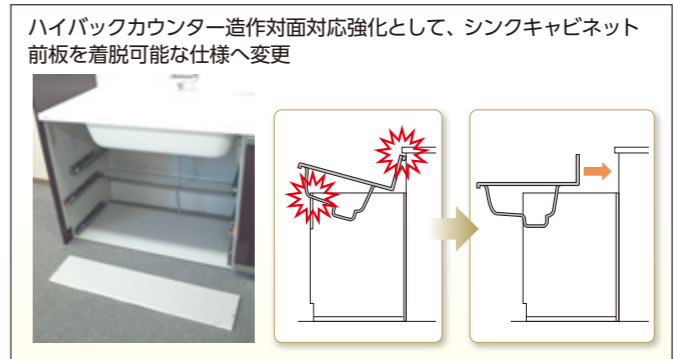
単身世帯増加に注目

賞を受賞した「Berry ハイバックカウンター」です。一般的に、カウンターのコーキングに継ぎ目や凹凸があり、ここに汚れが溜まることは仕方のないこととされてきました。ハイバックカウンターは、これを根本から解消しています。当社では、ユーザー自身も気づかないような「不便」をプロの目で発掘し、使ってみるとあたりまえになる機能の開発を目指しています。

さらに発売後も、ユーザーに使い捨てカメラを送付して撮影いただいたり、訪問を行うなど使用実態を調査。サイズ変更やオプション追加などの改良を続けています。

2014年10月に発表した「コンロレスキッチン」は、単身世帯の増加に対応した賃貸住宅向け商品です。この世帯への調査から、自炊派が増えて

図2. 前板着脱シンクキャビネット



ハイバックカウンター造作対面対応強化として、シンクキャビネット前板を着脱可能な仕様へ変更

いることや、賃貸住宅キッチンの狭さに不満があることがわかりました。そこでコンロをなくし広々としたカウンターを確保。使う人に合わせて自由に活用できるキッチンとしました。賃貸住宅のオーナーにとっても、ビルトインコンロがない分メンテナンスの負担がかりません。シンクもカ



行動観察を取り入れ 無意識の未充足欲求を満たす

使いやすさを追求した 「らくパットと収納」

床材なども含めたトータルコーディネートとともに、様々なライフスタイルに対応できる多様な商品ラインナップを取りそろえる当社では、新築にもリフォームにもお使いいただけるように商品開発を行っています。また、開発のポイントとして「収納作業性」「清掃性」「デザイン性」の3つを挙げ、ユーザーの「無意識の未充足欲求」をどう満たすかを追求しています。中でも、大容量を実現しながら仕舞い込むだけでなく、使うことを前提とした「らくパットと収納」は人気のシステムです。

シンク下の大容量の引き出しは開

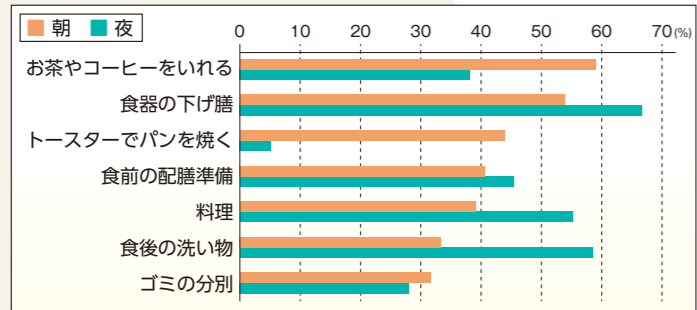


株式会社LIXIL
キッチン グローバル
ビジネスユニット
キッチン開発部
要素開発グループ
グループリーダー
田口哲氏

家事メンにも対応

ライフスタイルの変化に対応した商品では、2014年「家事メン」対応キッチンを開発しました。ユーザーにアンケートを取ったところ、男性がキッチン周りで日常的に家事をすることは何ら特別ではないと

図3. 男性が行う朝と夜の主なキッチン仕事



*調査対象：全国の20代～60代の既婚男女、サンプル数：1030名
出所：株式会社LIXIL、「男性のキッチン仕事参加に関する意識調査」

いう意見が多数でした(図3)。そこで、家事メンがとくに積極的にやっている「食器洗い」がしやすいよう広めのシンクを装備し、「ゴミの分別」や「簡単な調理」もしやすい機能を付加しています。

現代では働く女性が増え、男性も

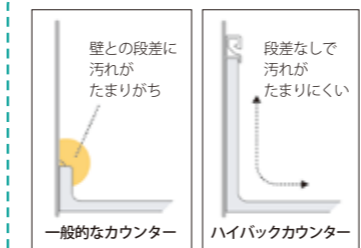
当たり前のように家事をするようになりました。洗い物を夜帰宅後にまとめて済ませる人も増えており、シンクの広さが求められています。ライフスタイルの変化に的確かつタイムリーに対応できるキッチンの開発は、今後も積極的に行っていきます。

「らくパットと収納」
テコの原理を応用して斜めに開く扉を開発し、引き出しを開けるのに必要な力を従来製品よりも30%軽減。包丁や菜箸など頻繁に使うものは手前のポケットに収納でき、扉をすべて引き出さなくても取り出すことができる



「サポートカウンター」
ダイニング側から食材を準備したり、できあがった料理を運んだりできる。住まいと調和するデザイン性を保持しつつ、「家事メン」にも対応した

写真提供：株式会社LIXIL



Berryの「ハイバックカウンター」
カウンターの立ち上がり部分から笠木カウンターの下までを自社開発の人造大理石によって一体形状化



写真提供：トクラス株式会社

ラーでインテリア性も兼ね備えています(12ページの広告参照)。
施工性も進化しています。シンクキャビネット前板を着脱可能な仕様に変更し、笠木を先付してもカウンター設置が可能にします(図2)。
今後は高齢者や介護者を支えるキッチン開発にも力を入れていく予定です。

「こんなキッチンがほしい！」ユーザーへのアドバイス

キッチンの現場を長年取材してきた本間美紀氏によると、「すべてを満たす万能なキッチンはない」という。だから「ユーザーが一番求めているものは何か」を明らかにすることが、キッチン提案では重要だ。ユーザーの希望にどう応えたらよいか、本間氏にアドバイスをもらった。

休日には友人・知人を呼んでホームパーティーを楽しみたい

手伝ってもらえる収納にしよう

向き合って使えるオープンキッチンならおしゃべりしながら料理ができます。また、配膳や盛りつけを手伝ってもらえるよう、見せる収納や、リビング側にも収納スペースを設けてグラスなどを入れておくのがお勧めです。



とにかく料理が大好きで、思う存分腕を振りたい

設備を充実させよう

ガスコンロ、オーブンのビルトイン設備を充実させましょう。特にガスコンロは、価格は少し高めですが、本格的なオープン料理やピザも焼ける高機能なものが出ています。後片付けが楽になる食器洗い機は必須アイテムです。



キッチン周りは余計なものを出さず、きれいにしておきたい

パントリーがオススメ

キッチンの横に1畳くらいのパントリーを作るのもいいでしょう。ウォークインクローゼットのキッチン版です。缶詰、乾物などのストックや、たまにしか使わないものをスッキリと収納できます。壁側に収納棚を設置し、引き戸で隠してしまうのもよいでしょう。



いつでも家族団楽の時間を大切にしたい

見える側のインテリアにこだわろう

家族と会話しながら料理ができる対面式のオープンキッチンがお勧め。リビングからいつも見えるので、素材感のいいものを選びましょう。見えない部分はローコストにしてリビング側だけ凝ったり、廉価なシステムキッチンの外側に囲いを作り、おしゃれなタイルを貼るなどの方法もあります。



高齢になってきたので、家事の負担を減らしたい

使い勝手がよい機能的な国産メーカーがオススメ

日本の住宅設備メーカーのキッチンはユニバーサルデザインにも気を配っています。掃除がしやすい、無駄のない動線の実現、電動式収納の採用など、機能面だけでなく、アフターサービスなども充実しています。とくに、シニア市場に対しては非常に強いと思います。



キッチンもインテリアとしてコーディネートしたい

素材感を重視しよう

お気に入りのソファとコーディネートしたり、キッチンの扉材とテーブルを揃えるなど。また、今までにない素材にこだわる人も増えています。木のカウンタートップや、天然水晶を砕いて樹脂を混ぜたクォーツストーンも人気です。





藤井繁子

『月刊 HOUSING』編集長、リクルート住まい研究所主任研究員などを経てフリーの住生活ジャーナリストに。自治体や市民団体と街づくりに関わりながら、国内外で取材・コンサルティング活動などを行っている。

2015年豊かな住まいへ、二つの潮流

消費税の動向が気になるも、株価と金利が追い風

黒田日銀総裁の金融緩和、久々の株暴騰に富裕層とシニア層のお財布の紐が緩み始めた様子。すでに大手住宅会社も高級路線への体制を整えています。積水ハウスは30周年のダイコンクリート「ISシリーズ」をテコ入れし、『人生になる家』とキャッチフレーズも新たに展開中。住友林業では東京都世田谷区の駒沢第一展示場で、インテリアデザイナーの橋本夕紀夫氏とコラボレーションし、和の伝統技術によって斬新な都市型邸宅モデルを造り上げました。一方、三井ホームがコラボしたのはコイズミ照明。LEDの調光効果や多灯分散照明によって、住空間のクオリティを高める提案です。

併せて、1月からの相続税課税強化による減税対策として賃貸住宅の受注も各社好調。首都圏では土地価格上昇により、自宅の土地50坪程度の財産だけで相続税支払い義務が発生する案件が急増する見込み。軽減措置を活用すべく二世帯住宅の提案にも熱が入っています。

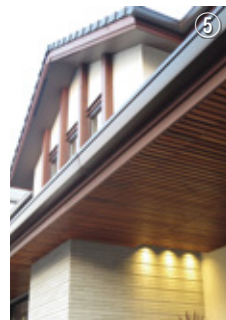
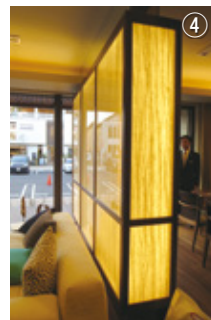
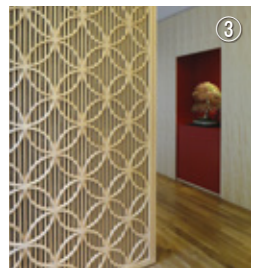
老いも若きも‘コンパクト’に住まう

新築数が減っていく市場環境の中で、富裕層や建替層のハイクオリティ注文住宅が一つの潮流とすれば、もう一つ注目すべき潮流は‘コンパクト’に住まうという動き。

新宿のリビングデザインセンター OZONEで開催された『都市型コンパクトライフのススメ展』(写真⑥⑦)。建築家の末光弘和氏+末光陽子氏が提案したのは、50歳以上の大人の新しい住まい方。『二人暮らしの50㎡』と題したモデルルームとそのマンション建物模型を展示。専有面積を小さく＝共有面積を大きくすることで生まれる、新しい豊かさの価値観を提唱したもの。専有部分である自宅の一部もカフェや図書館などとしてコミュニティに開き、共用部とともに近隣住民でシェアする住まい感。国も高齢社会の医療・介護の対策としてコンパクト・シティを推進していますが、こんな集住なら独居シニアも長屋感覚で楽しめそうです。しかし、専有面積は50㎡を想定しているので収納は限られ、これまでの所持品は古い価値観とともに断捨離しなければ実現しない暮らし方だと考えさせられました。



① 住友林業 ① 邸宅モデルの模型。都市住宅なので正面に窓はなく、大きな木製門が開くと中庭に続く。外壁は左官仕上げ ②「門を全開放しても、中庭との間にある大きな石のオブジェが内と外を『結界』するイメージ」。デザイナーの橋本氏 ③ 玄関ホールとリビングを仕切る、組子格子の引戸。設計の精鋭集団であるデザイン・パートナー・グループが、このような邸宅プロジェクトを担当



④ 三井ホーム ④ 行灯(あんどん)と呼ぶ、箱型の照明器具がコンパクトのある演出に。リビングとダイニングの間を仕切る ⑤ 天然木や自然石など外観素材も照明で引き立てる(川越ハウジングステージ内)

もう一つの企画展は六本木の東京ミッドタウンで開催された『MAKEHOUSE—木造住宅の新しい原型展』(主催NCN社、写真⑧⑨)。7人の若手建築家が木の家の新しいつくり方についてアイデアを出した展示会。そこで建築家の谷尻誠氏が「50㎡弱の家を1000万円で建てられれば、食や旅など他の生活に余裕ができて豊かになるはず」と、シンプルでコンパクトに住まうライフスタイルを提案。多様な価値観で若年層が持家にこだわらなくなる傾向もある中で、コンパクトで豊かに暮らすという流れにも、住宅メーカーは対応していく必要があると実感しました。



⑥ 屋上では家庭菜園、廊下や階段に幅をもたせ往来をよぶ4階建てマンションの模型 ⑦ 廊下に面したDKは、ガラス折り戸の全面開口。カフェとして自宅を地域に「開く住まい」

⑧ 「高床の低い家」谷尻氏 ⑨ 内装のセルフビルドを提案「つくる家」長坂常氏。各建築家の模型など詳細は[MAKEHOUSE]ホームページに公開

注目企業を訪ねる

付加価値創造に挑戦

プラネタリウムといえば科学館などの施設に設置されるもので、機材も数トンという重量がありました。そのため、個人が上映会を催すことなど不可能に近かった。しかし、MEGASTARは27kgで可動式。また、星を線でつないで星座を表すなど、それまでたくさんあった機能を取捨選択して星空の美しさを表現することに特化した結果、1〜2億円を必要としていた費用も、4分の1程度に抑えることが可能になりました。それまでのプラネタリウムには、小型軽量化という進化のベクトルがなかった。技術的にはできることも、する必要がなかったのでしょうか。私の場合、MEGASTARを作った場所が実家の2階の自室で、女関まで持っていくのも大変で小型軽量化を図るしかなかった

プラネタリウム業界に新たなベクトルを生み出し続けるクリエイター



代表取締役
おおひら
大平貴之氏

本社 ● 神奈川県横浜市都筑区池辺町4489-1
創業 ● 2005年
資本金 ● 1,000万円
従業員 ● 15名
事業内容 ● プラネタリウムの設計・製作・販売、プラネタリウムの移動公演・上映番組の制作

世界を驚かせた
150万個の星空

「プラネタリウムに映し出される星の数は、人間が肉眼で確認できる限界と言われる9000個あれば十分とされてきた。しかし1998年、国際プラネタリウム協会(IPS)総会で、150万個(完成形は170万個)もの星を映し出す光学式プラネタリウム『MEGASTAR(メガスター)』が発表され、業界を驚愕させた。その開発者こそが、個人で参加していた大平貴之氏だった。

「単に星数の追求をしたわけではありませんが、奥行きを生み出し、よりリアルで美

せるようになったことで、メンテナンスやサービスの質も向上し、製品のクオリティも高まっています」

ハンデがあるからこそ
ブレイクスルーできる

「日本は光学式プラネタリウム先進国であり、大手2社だけで世界シェアの半分以上を占めてきた。今、大平技研はここに並ぶ勢いで躍進を遂げ、MEGASTARの常設施設は国内で12カ所、海外はアメリカやロシア、インドなど10カ所を数える。

ここが注目ポイント

固定観念にとらわれない発想で
業界に進化のベクトルをつくる

“150万個の星” “小型軽量化”
で新たなニーズを発掘

機能を取捨選択することで
低価格化を実現



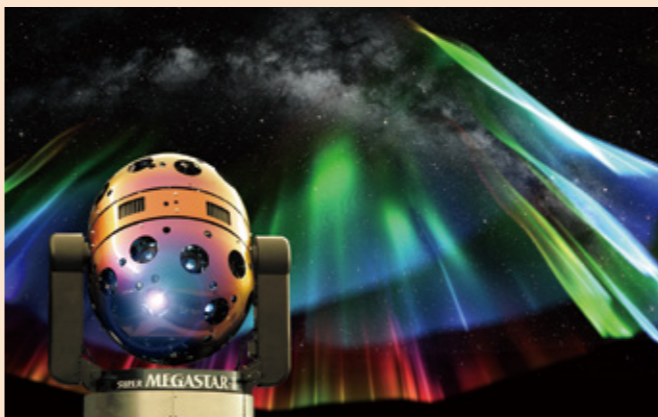
2014年12月25日まで東京・銀座で開催の音楽と星空を交えた幻想的なイベント『サウンド・プラネタリウム2014』



「HOMESTAR」シリーズの主力商品「HOMESTAR Classic」



販売価格:税込10,584円



デジタルプラネタリウムと連動し、2200万個の星を映し出すSUPER MEGASTAR-II

「小学生の頃からプラネタリウム作りに興味を持ち、趣味で開発製作していた大平氏。驚くことに、MEGASTARもそのひとつなのだ。

「2003年にそれまで動いていた電気機器メーカーを辞め、フリーのプラネタリウム・クリエイターとなつてからも、ひとりで作り続けていました。MEGASTARが映し出す星の位置は、内部に組み込まれた恒星原板に開けられた穴によって決まります。穴の大きさは直径0.7マイクロメートルという微細なもの。そのため装置も、半導体製造装置の技術を流用して自作しました。2005年に起業してからもMEGASTARの新しいアイデアや方向性は私が決めています。ただし、エンジニアを含めた組織を作り、それぞれの得意分野で任せられる部分を任

んです(笑)。そういうハンデがあったからこそ、大企業がやらなかったことがやれたのだと思います」

「コンパクトでも持ち運べることから、ホテルやショッピングモール、コンサートや結婚式の演出など大勢の人の目にふれる機会も広がっている。

「MEGASTARは進化を続けていて、投影星数は2200万個に拡大されています。ただし今、星の数では他社が記録を塗り替えています。これは、非常に面白い傾向だと思つています。これまでになかった進化のベクトルがひとつの流れになったわけですからね。新しいプラネタリウムのアイデアとして今考えているのが、ひとつの街を丸ごとドームで覆い、天井に満天の星を映し出すこと。あり得ないし馬鹿げていると思われそうですが、不可能だと思つた瞬間に新しいものを生み出す道は断たれます。本物に限りなく近づいたMEGASTARの星空でどんな表現ができるのか、ますます追求していきたいですね」

「大平氏は今、リアルで精緻な星空を描き出す光学式と、様々な映像表現が可能なデジタル式を融合させた独自開発の投影方式「FUSIONシステム」にも力を入れている。再びあらたな進化のベクトルが生まれそうだ。

CLT(直交集成板)の普及に向けたロードマップを 国土交通省と林野庁が公表

国土交通省と林野庁は11月11日、CLTの普及に向けたロードマップを公表した。

CLTを本格的に普及するためには、

- ① 建築基準(基準強度・設計法)の整備
- ② 実証的な建築事例の積み重ね
- ③ CLTの生産体制の整備

といった施策を総合的に推進することが必要となる。こうした施策の具体的な内容とスケジュールを生産側や建築側などに幅広く周知し、関係者の取り組みを促すことが目的だ。

国交省は強度データの収集や実大実験などを経て、2016年度に「基準強度」や「一般的な設計法」を告示す

る。現在CLTを使用する際は国土交通大臣認定の取得が必要だが、これらの告示により大臣認定を受けずに比較的容易な計算による建設が可能になる。

また15年度には「燃えしろ設計」の告示を行い、3階程度以下の建築物ではCLTを現しで使用可能にする。

林野庁は14年度にCLTを活用した実証的建築物8棟(岡山県・福島県など)の建設を支援し、施工ノウハウを蓄積・広く周知し、住宅メーカーなどがCLTに取り組みやすい環境づくりを目指す。

ロードマップでは、16年度初めに5万㎡の生産を実現し、24年度までに年間50万㎡の生産体制の構築を目指すとしている。

● 目標:CLT工法での建築を可能に ※ 構造の全てをCLTとする建築物

現状	2014年度	2015年度	2016年度	目指す成果
国土交通大臣の認定を受けて建設	強度データ収集		基準強度告示 追加データ収集	国土交通大臣認定を受けず、比較的容易な計算により建設可能に
	一般的な設計法を確立するための検討・実大実験		一般的な設計法告示	
規模等に応じた耐火性能を確保することで建設	「燃えしろ」に係る検討・実験等	燃えしろ設計告示		3階程度以下の建築物についてCLTを「現し」で使用可能に ※ 準耐火建築物が求められる規模などの建築物

空き家対策特措法が成立 「特定空き家」への立ち入り調査可能に

適切な管理が行われていない空き家は、防災・衛生・景観などで地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。こうした空き家問題への対策を盛り込んだ「空家等対策の推進に関する特別措置法」(空家対策特別措置法)が、11月19日の参院本会議において全会一致で可決、成立した。

今回の措置法により市町村は、倒壊の恐れがある空き家など「特定空き家」への立ち入り調査や、撤去や修繕を所有者に命令できる権限を与えられ、自治体による強制的な除去などが可能になる。

所有者が命令に違反した場合は50万円以下の過料を科す。法律の施行は公布後3カ月以内、「特定空き家」への立ち入り調査や撤去などの施行は6カ月以内。

◎ 「特定空き家」とは

- ・ 倒壊など著しく保安上危険な空き家
- ・ 著しく衛生上有害な空き家
- ・ 適切な管理が行われないことで著しく景観を損なっている空き家
- ・ 周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切な空き家

編集室より

広告掲載・誌面に対するご意見、ご感想は
建材マンスリー編集室専用アドレスまでお寄せください。

kenzai-monthly@sfc.co.jp

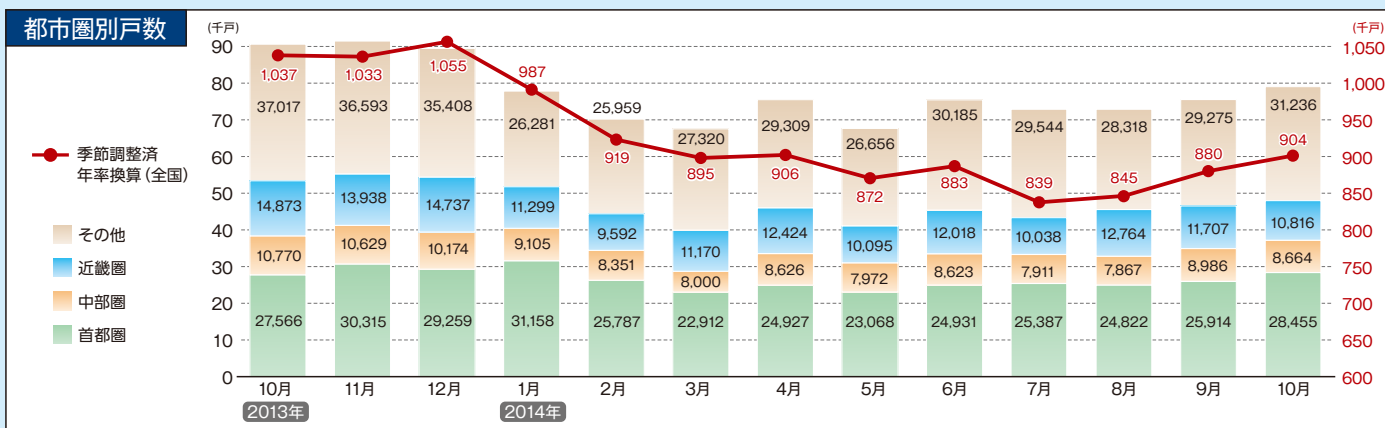
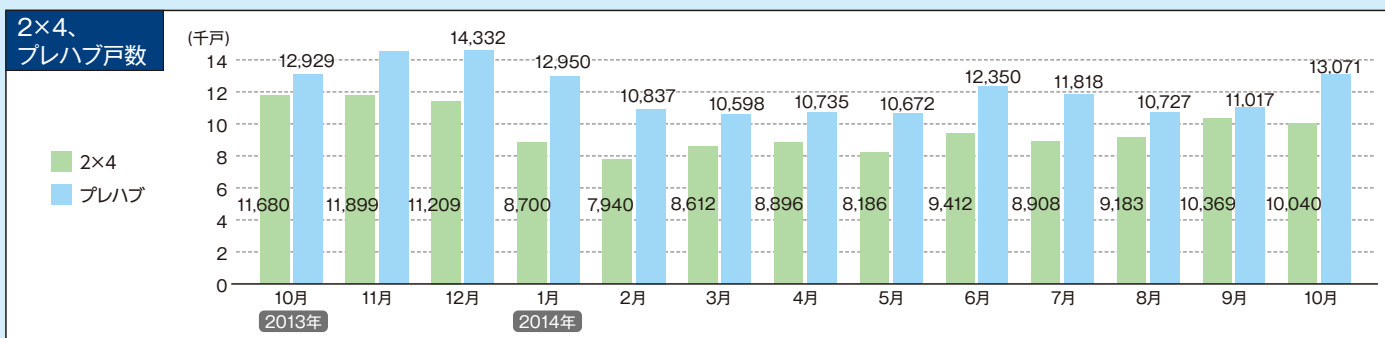
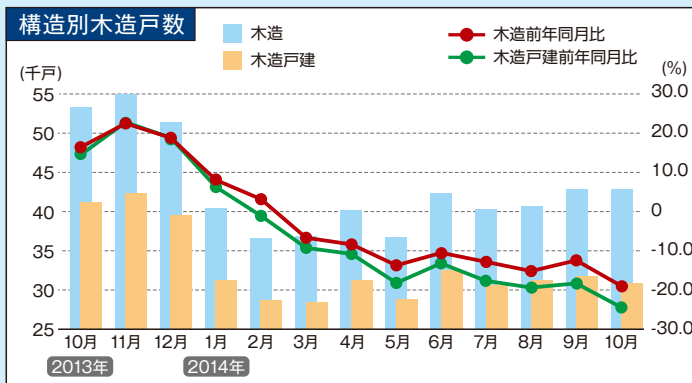
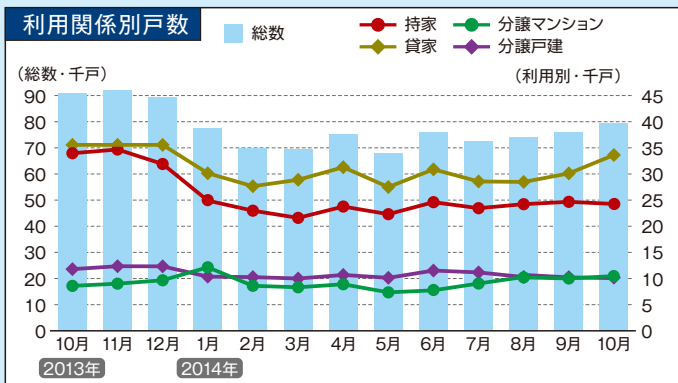
住友林業株式会社 木材建材事業本部 事業開発部

編集後記

先日文房具屋さんに行きました。お店はクリスマスモードでクリスマスカードやツリーグッズなどが所狭しと並んでいて、特に買う必要もないのにワクワクして思わず手にとってしまった。ずっと出していなかったクリスマスツリー、今年は久々に出してみようかな…さて今年も残りわずか。お陰様で本年も無事に12月号まで発行することができました。ありがとうございました。来年も心機一転がんばって参りますので、引き続きどうぞ宜しくお願い致します。(E)

2014年10月の新設住宅着工戸数 △は減

		10月				9月	8月	7月	
		対前月比		対前年同月比					
新設住宅計		79,171	3,289	4.3(%)	△ 11,055	△ 12.3(%)	75,882	73,771	72,880
建築主別	公共	2,153	791	58.1	△ 286	△ 11.7	1,362	1,387	2,049
	民間	77,018	2,498	3.4	△ 10,769	△ 12.3	74,520	72,384	70,831
利用関係別	持家	24,245	△ 372	△ 1.5	△ 9,722	△ 28.6	24,617	24,250	23,524
	貸家	33,628	3,546	11.8	△ 1,431	△ 4.1	30,082	28,435	28,623
	給与住宅	478	△ 409	△ 46.1	△ 220	△ 31.5	887	417	691
	分譲住宅	20,820	524	2.6	318	1.6	20,296	20,669	20,042
	うちマンション うち戸建	10,495 10,146	546 △ 101	5.5 △ 1.0	1,986 △ 1,620	23.3 △ 13.8	9,949 10,247	10,188 10,299	9,011 10,882
資金別	民間資金	70,545	2,785	4.1	△ 8,798	△ 11.1	67,760	65,901	64,584
	公的資金	8,626	504	6.2	△ 2,257	△ 20.7	8,122	7,870	8,296
	公営住宅	1,925	1,060	122.5	△ 70	△ 3.5	865	1,270	1,673
	住宅金融機構融資住宅	3,468	12	0.3	△ 865	△ 20.0	3,456	3,333	3,370
	都市再生機構建設住宅	48	△ 17	△ 26.2	△ 112	△ 70.0	65	106	124
	その他住宅	3,185	△ 551	△ 14.7	△ 1,210	△ 27.5	3,736	3,161	3,129
構造別	木造	42,990	11	0.0	△ 10,227	△ 19.2	42,979	40,667	40,631
	非木造	36,181	3,278	10.0	△ 828	△ 2.2	32,903	33,104	32,249
	鉄骨鉄筋コンクリート造	271	△ 102	△ 27.3	22	8.8	373	392	273
	鉄筋コンクリート造	21,742	1,897	9.6	△ 31	△ 0.1	19,845	20,344	18,759
	鉄骨造	14,049	1,449	11.5	△ 769	△ 5.2	12,600	12,272	13,112
	コンクリートブロック造 その他	67 52	12 22	21.8 73.3	△ 19 △ 31	△ 22.1 △ 37.3	55 30	54 42	67 38



(出典：国土交通省ホームページ http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html)

✓ Toclas Kitchen

Bb Compact Plan コンパクトプラン

「賃貸住宅」向け

退去後にキレイに“甦る”キッチン登場！

満足度の高いキッチンで、空室率を下げメンテナンスコストを抑えます。

磨けば
キレイに再生
人造大理石
シンク&
カウンター



コンロレス
だから広々
ワークトップ！

トクラスキッチンBb コンパクトプラン
コンロレスプラン 間口W1200～ 321,100円～(税別) ※写真は間口W1500

汚れ、キズ、衝撃、熱に強く
気兼ねなく使える
トクラスの人造大理石



入居者が、ライフスタイルにあわせて使える広々カウンター

ほとんど料理をしない人



電子レンジ+電子ケトル

簡単な料理をする人



1口IH+電子ケトル

しっかり料理をする人



2口IH

トクラス株式会社

〒432-8001 浜松市西区西山町1370 ☎053-485-1561 <http://www.toclas.co.jp/>



建材マンスリー
No.590
DECEMBER
2014

12

昭和39年8月創刊 第51巻 平成26年12月1日発行(毎月1日発行)
発行人/楠木孝範 発行所/建材マンスリー編集部 〒100-8270
住友林業株式会社 木材建材事業本部 事業開発部

通巻590号 東京都千代田区大手町1-3-2 (経団連会館) TEL 03-3214-3280 FAX 03-3214-3282